

⑤ 村びとのしごとのようす

私たちの村で、しごとについている人の数は、昭和60年の国勢調査によると、3,843人です。そのうちの約半分は田や畑のしごとをしています。

田や畑のしごとをする人びとの割合をみてみますと、昭和50年に61%であったのに比べると、昭和60年には49%とかなり減っています。

これにたいして、工事現場ではたらく人や、物をつくる人、あるいは会社や商店ではたらく人が増えています。この原因は、機械化が進み、田や畑のしごとに手間がかからなくなったことがあげられます。

福島県全体の割合とくらべると、田畑のしごとをしている人の割合が多いので、農業中心の村であることがわかります。

昭和45年 4,191人（就業人口）

田畑のしごと 70%	けんせつ せいぞう 11%	商店や 役所など 19%
昭和50年 3,883人		
61%	16%	23%
昭和55年 3,879人		
52%	19%	29%
昭和60年 3,843人		
49%	21%	30%